

# 準備学習ポイント一覧

科目名	臨床薬理学	教員名	幸田 幸直	学科/区分	臨床検査 選択	履修年次	3
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)				
	1	薬理学を学ぶにあたって	キーワード 薬物とは 薬物の使用目的 薬理学のなりたち 教科書 第1章「薬理学を学ぶにあたって」 4～15ページ および1回目配布資料				
	2	薬力学	キーワード 薬物受容体 イオンチャネル 酵素 トランスポーター 教科書 第2章「薬理学の基礎知識」 16～22ページ および2回目配布資料				
	3	薬物動態学 1	キーワード 薬物の投与経路 薬物の吸収・分布・代謝・排泄 教科書 第2章「薬理学の基礎知識」 23～36ページ および3回目配布資料				
	4	薬物動態学 2	キーワード 薬物動態の指標 薬物相互作用 薬効の個人差 教科書 第2章「薬理学の基礎知識」 37～47ページ および4回目配布資料				
	5	薬効影響要因	キーワード 薬物の有益性と危険性 薬と法律 教科書 第2章「薬理学の基礎知識」 48～65ページ および5回目配布資料				
	6	抗感染症薬	キーワード 感染症治療 抗菌薬 抗真菌薬 抗ウイルス薬 教科書 第3章「抗感染症薬」 66～95ページ および6回目配布資料				
	7	抗がん薬、免疫治療薬	キーワード がん治療 抗がん薬 免疫系 免疫抑制薬 免疫増強薬 教科書 第4・5章「抗がん薬・免疫治療薬」 96～121ページ および7回目配布資料				
	8	抗アレルギー薬、抗炎症薬	キーワード 抗ヒスタミン薬 抗炎症薬 関節リウマチ治療薬 教科書 第6章「抗アレルギー薬・抗炎症薬」 122～137ページ および8回目配布資料				
	9	末梢神経系作用薬	キーワード 交感神経作用薬 副交感神経作用薬 筋弛緩薬 局所麻酔薬 教科書 第7章「末梢の神経活動作用薬」 138～157ページ および9回目配布資料				
	10	中枢神経系作用薬 1	キーワード 全身麻酔薬 催眠薬 抗不安薬 抗精神病薬 教科書 第8章「中枢神経系作用薬」 158～174ページ および10回目配布資料				
	11	中枢神経系作用薬 2	キーワード 抗うつ薬 抗パーキンソン薬 抗てんかん薬 麻薬性鎮痛薬 教科書 第8章「中枢神経系作用薬」 175～189ページ および11回目配布資料				
	12	循環器系作用薬 1	キーワード 降圧薬 狭心症治療薬 抗不整脈薬 利尿薬 教科書 第9章「循環器系作用薬」 190～212ページ および12回目配布資料				
	13	循環器系作用薬 2	キーワード 脂質異常症治療薬 抗血液凝固薬 貧血治療薬 教科書 第9章「循環器系作用薬」 213～229ページ および13回目配布資料				
	14	呼吸器用薬、消化器用薬	キーワード 気管支喘息治療薬 消化性潰瘍治療薬 制吐薬 教科書 第10章「呼吸器消化器系等作用薬」 230～249ページ および14回目配布資料				
15	その他の薬物	キーワード 糖尿病治療薬 骨粗鬆症治療薬 ビタミン 外用薬 消毒薬 輸液・血液製剤 教科書 第11章「物質代謝作用薬」以降 250ページ以降 および15回目配布資料					
教員からのメッセージ	授業の進度に応じて授業内容が前倒しになることがありますので、次回の授業で触れると考えられる箇所を含めて、少し広めに教科書に目を通してから授業に臨むようにして下さい。プリントを併用しますので活用して下さい。基本的な重要事項は反復して学習しますので、系統的理解に努めて下さい。						